

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成24年 6月 9日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 名古屋市北区金城1-7-23

氏 名 大和グラビヤ株式会社

代表取締役社長 後藤 明

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 052-911-2241

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和グラビヤ株式会社 生産本部 大口工場
事業場の所在地	愛知県丹羽郡大口町上小口2-134
計画期間	平成24年4月～平成25年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	プラスチック製品製造業
②事業の規模	49億円
③従業員数	223人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	印刷→廃インキ(引火性廃油)→蒸留→再生(溶剤、セメント材料)、水、残さ→焼却→埋立て ラミネート→廃接着剤(引火性廃油)→焼却(熱利用)→埋立て ラミネート→廃接着剤(引火性廃油)→蒸留→再生(溶剤)、残さ→焼却→埋立て

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
<p>(管理体制図)</p> <p>生産本部長 大口工場長 品質管理部係長 (廃棄物処理総括責任者、産業廃棄物処理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者) ├産業廃棄物処理施設技術管理者 └委託業者</p>		
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（平成23年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油
	排出量	52 t
	(これまでに実施した取組) ・適正なインキ量、接着剤量に基づいた生産 ・インキ残肉の再利用 ・生産ロスの低減	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油
	排出量	47 t
	(今後実施する予定の取組) ・生産ロスの低減 ・ハイソリッドインキの使用	
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 接着剤由来のものについては廃棄物置場で所定の量を超えないようにドラム缶の数量管理を行っている。	
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 変更を加える予定はなし。	

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成22年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成22年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	全処理委託量	52 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	33 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	19 t	t
	(これまでに実施した取組) ・複数業者の取扱量を平等にするため、ドラム缶の引き取りと補充を同数にするよう仕組みを変えた。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	全処理委託量	47 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	29 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	18 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インキ由来の発生量を抑えるため、適正な使用量を維持しているか監視する。 		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。